専門領域家庭科

家庭科は、私たちの毎日の暮らしに関わる様々な事柄を手がかりとして、自分にとって一番身近な環境である「家庭」を基盤にして、「地域」、「社会」へと視野を広げながら、自分と人、モノ、環境の相互関係について考え、より良い生活のあり方を追求する教科です。福祉、環境、ジェンダーなどの現代的課題に関わっています。

家庭科の教員免許に関わる授業と担当者の関係図

「家庭科」って、“実習”のイメージが強いですか？でも、それだけではないんですよ。自分自身の暮らしを見直し、生き方を考える、そんな家庭科の授業づくりを試みています。

家庭経営学Ⅰ・Ⅱ★

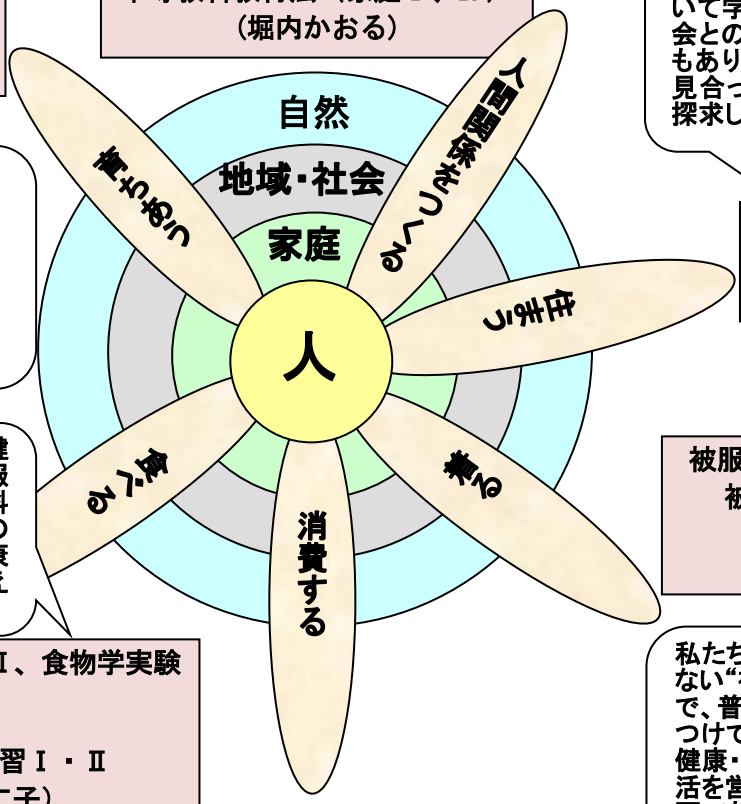
初等家庭科教育法
中等教科教育法（家庭Ⅰ、Ⅳ）
（堀内かおる）

保育学、児童学
（園田菜摘）

人間は育っていく過程で、周りの人や環境から大きな影響を受けています。それぞれの時期に大切な発達の特徴を知り、子どもへのより良い働きかけについて考えてみましょう。

住居学は生活を営む家について学ぶ事に加えて、地域社会との関わりを考える学問でもあります。あなたの生活に見合った住居スタイルを共に探求しましょう！

住居学、住居学演習
（佐桑あずさ）



現代社会では、食と健康に関する様々な情報が氾濫しています。科学的根拠に基づく食の知識を身につけ、健康な食生活について考えていきましょう。

食品・栄養学Ⅰ・Ⅱ、食物学実験
（三戸夏子）

調理学及び実習Ⅰ・Ⅱ
（杉山久仁子）

人間は食品を調理することによって、より安全で、食べやすく、おいしく、消化しやすい食べ物に変えています。調理の理論およびその方法を学びながら、私たちの身の回りの食べ物をもう一度見直してみましょう。

被服造形学及び実習Ⅰ・Ⅱ
被服学，衣生活学演習
（薩本弥生）

私たちの毎日の生活に欠かせない“被服”、ファッション中心で、普段あまり考えずに身につけていませんか。
健康・安全でかつ快適な衣生活を営むためには、なにが重要であるのか、一緒に考えましょう。

家庭科に関わる授業は家政教育講座の教員が担当します。★は非常勤講師です。この他に「中等教科教育法(家庭)」、「スクールデ―実践A」、「教職実践演習」を講座で開講します。